平成20年度　施策評価シート

◆総合計画における位置付け等

平成20年7月23日記入

基本目標	学びあいあたたかさのある福祉文化都市をめざして	施策コード	11120
政策名（章）	第１章　安心して生活できる福祉社会をつくります	評価担当局	健康福祉局
基本施策名（節名）	第１節　福祉文化の創造とバリアフリーの推進	施策所管課	地域福祉課
施　策　名	地域で助け合う福祉活動の推進	課長名	甘利　賢治

１　施策の目的・概要（目的はわかりやすく記入）

幅広い市民参加により、相互に支え合う地域社会の実現をめざし、市民の福祉活動への支援を行う。
「相模原市地域福祉計画」に基づく事業の実施や、地域の福祉活動の担い手である市社会福祉協議会や地区社会福祉協議会、民生・児童委員への支援、また福祉活動の拠点である「あじさい会館」の管理運営などを行っている。

２　事業費・人員

（単位：千円）

年度	平成17年度（決算）	平成19年度（決算）	増減の主な理由
事業費	506,224	642,129	津久井4町との合併による市社会福祉協議会運営助成費の増
人件費	31,959		
市民一人あたりの事業費（単位：円）	759	910	
合計	538,183	642,129	

＊人件費は、職員一人あたり　H17：805万円、H19：805万円として算定。人口は、66.7万人（H18.4.1現在）、70.6万人（H20.4.1現在）とした。

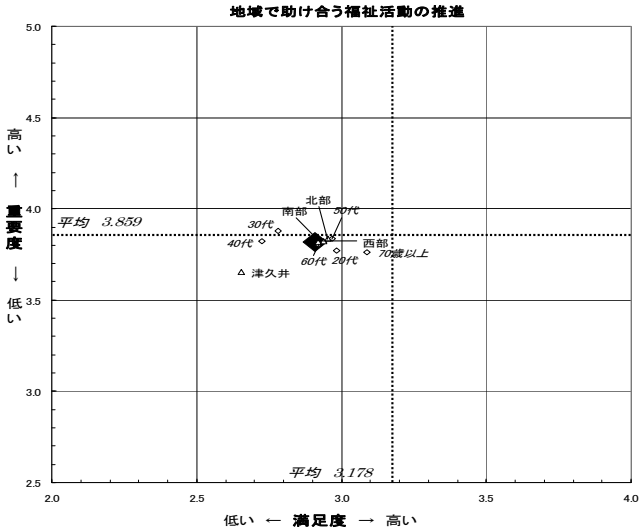
３　成果・活動指標

	指標名	指標の基準値の定義	目標値の考え方（根拠）
指標１	民生・児童委員の研修会等への参加率	研修会参加者数/民生・児童委員定数×１００	民生・児童委員活動を円滑に進めていくためには、研修等に参加 することによる知識の修得が不可欠である。１人が3年間の任期 中に5回（年１．５回）の研修に参加することを目標とする。 ※内訳…全体研修2回、分野別3回（児童・高齢・
指標２	地域福祉推進会議の設置数	福祉コミュニテイ形成事業に基づき各小圏域に設置する「地域福祉推進会議（地域の福祉課題の把握・解決に向けた検討の組織）」の設置数	モデル地区として設置した2地区（光が丘・東林地区） 以外の20地区について、平成21年度からの5年間 の年次計画（各年4地区）により設置を目指すも
指標３			
指標４			
指標５			

	基準年	基準値	H19		H20		H21		H22	
			目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
指標１（単位：%）	H17	160.0	150.0	215.6	150.0		150.0		150.0	
事業費/人員										
指標２（単位：箇所）	H17	0.0	2.0	2.0	2.0		6.0		10.0	
事業費/人員										
指標３（単位：箇所）										
事業費/人員										
指標４（単位：　）										
事業費/人員										
指標５（単位：　）										
事業費/人員										

4　市民満足度調査結果（平成20年度実施分）

〇この施策の満足度は2.908で121施策の中で120番目。
〇重要度は3.818で71番目である。
〇改善要望度は0.1619で32番目である。
〇年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、40代で最も低くなっている。重要度は30代で最も高く、70歳以上で最も低くなっている。
〇地区別にみると、満足度は北部で最も高く、津久井で最も低くなっている。重要度は北部で最も高く、津久井で最も低くなっている。



5　1次評価（2つの視点から評価を行う）

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H18評価点	前回（H18）評価結果との比較分析
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	4 (2) 1	(4) 2 1	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 2 (1)	4 (2) 1	市民満足度調査について前回と比較すると、重要度が低下し、重要度・満足度のいずれの数値も、平均値を下回る事業となっている。 少子高齢化が進展する中、住み慣れた家庭や地域で誰もが安心していきいきと暮らしていくためには、地域で助け合う福祉活動の推進が必要であるが、その重要性の周知が不足していると思われる。
合計		3	評価結果に基づく区分（2項目の合計点数による） A（6点以上）　B（5点・4点）　C（3点以下）	1次評価 C

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6　課題と解決策（現状または、評価結果から）

課題	地域で助け合う福祉活動の推進のためには、市民の地域福祉への関心の高まりと幅広い参加が必要であるが、市民満足度調査の結果によると重要度が低下してしまっている。 今後、一層の地域福祉への関心の高まりと、幅広い参加を促進する必要がある。
解決策	福祉コミュニティ形成モデル事業の成果を広く周知するとともに、各小圏域への「地域福祉推進会議」の設置により地域の福祉課題の把握・解決のしくみを構築し、活動の活性化を推進する。さらに、このことにより関心が低かった層の関心を喚起し、より幅広い参加と活動の活性化を図る。 （「活動の活性化→新たな層の関心の高まり→より幅広い参加→さらなる活動の活性化・・・」をサイクルとして機能させる。）

7　2次評価及び意見（1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入）

評価にあたり、優先すべき指標を再検討する必要がある ⇒有効性の評価を、指標1「民生・児童委員の研修会の参加」から指標2「地域福祉推進会議の設置数」へ評価指標を変更したことにより、1次評価は「B」⇒「C」に変更した。	2次評価 C

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8　3次評価及び意見（評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入）

団塊の世代の活用なども視野に入れた施策を検討すること。	3次評価 C

＊Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

地域で助け合う福祉活動の推進

コード	11120

構成事務事業一覧

単位：千円

事務事業担当課	構成事務事業	H19決算見込（事業費）	H20予算（事業費）	H21見込額（事業費）	事業効果の高い指標番号	前回の優先順位	H17人員（人）	H17決算額（事業費）	H17合計（人件費含む）
地域福祉課	社会福祉協議会運営助成費	338,964	418,226	461,335	2	~~再掲~~ 1	0.02	287,016	287,177
地域福祉課	地区社会福祉協議会育成推進事業補助金	9,180	9,180	9,180	2	1	0.01	8,860	8,941
~~地域福祉課~~	~~あじさい会館維持補修費~~	12,373	－	－	－	7	0.04	7,997	8,319
地域福祉課	民生委員推薦会等経費	735	613	613	1	法	0.15	126	1,334
地域福祉課	民生（児童）嘱託員経費	93,750	96,214	96,214	1	1	2.20	77,312	95,022
地域福祉課	民生委員協議会運営補助金	7,003	8,275	8,275	1	1	0.02	5,724	5,885
地域福祉課	社会福祉基金運用事業	10,416	11,955	14,999	2	1	1.00	10,081	18,131
地域福祉課	地域福祉推進経費	15,501	9,079	9,079	2	1	0.50	2,501	6,526
地域福祉課	あじさい会館維持管理費	154,207	157,790	92,090		~~6~~ 7	0.03	106,607	106,849
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
		642,129	711,332	691,785			3.97	506,224	538,183